

インターンシップ実施のスケジュールや規模、内容は、企業によって様々なようです。

オリジナリティあふれる取り組みで、会社案内やインターネットの情報だけではわからない企業の魅力や雰囲気を、実際に体験してもらうことができます。

また、職業体験を提供することで社会貢献となり、学生を迎えるにあたって社内が活性化し、社員のマネジメント力やリーダーシップ力を育てる機会にもなります。

社会へ歩み出そうとする学生には、職業選びがより固まる、就職後のミスマッチを減らせる、社会人への意識の向上が高まるといった後押しにもつながります。



船橋市

E-Mail : shokoshinko@city.funabashi.lg.jp

学生体験談と
本音が満載！

インターンレポ

企業3社による
学生インターンシップ
体験実録レポート

- 株式会社
総合印刷新報社
- 昭和産業
株式会社
- 株式会社
イトーヨーカ堂

インターンシップを取り入れてみませんか！

株式会社 総合印刷 新報社

企業概要

■会社名
株式会社総合印刷新報社

■設立
1953 年（昭和 28 年）

■本社
千葉県船橋市高瀬町 32 番地

■代表者
代表取締役社長 竹口朋子

■主要事業
企画・デザイン・編集・印刷・製版・製本 等

■従業員数
37 名

市内小学生が株総合印刷新報社を訪問し、工場見学をしている様子をおさめた動画「とことん船橋」をぜひご覧ください！

▶「とことん船橋」動画

視聴方法① YouTube にて「とことん船橋」と検索！

視聴方法② 船橋市ホームページ（下のバーコード）より視聴



濱田百合絵さん の一日に密着！ 入社 3 年目 所属：DTP 部門

入社前にインターン制度を利用して 3 ヶ月程勤務した後、短期集中講座に通い、実践的なデザイン業務ソフトの勉強を強化。入社後は即戦力に。

- 8:00 ● 出社
サイクリング通勤で朝の光をたっぷり感じて、一日のやる気を高めています！
- 8:15 ● 清掃開始
- 8:30 ● 全体朝礼
目標確認の後、標語発表や挨拶で、一日をスタートさせます。
- 8:45 ● 部門ミーティング
それぞれの部署に分かれ、一日の制作スケジュールやお客様のご要望などの確認を行います。
- 9:00 ● 制作開始
デザイン案件や編集など内容は様々。より良い製品づくりを目指して、プロ意識を持ち、対応しています。
- 12:00 ● ランチ
眺めの良いカフェスペースで同僚とお弁当！
- 12:50 ● 制作開始
品質向上のため、工場や他部署の方々とも協力しています。
- 15:00 ● 休憩
同僚から難しい案件のアドバイスを受けたり、コミュニケーションを大切にしています。
- 17:30 ● 業務終了
案件によっては、残業になることもあります。今日はこれからジムへ行ってきます！



先輩と冊子の校正をチェック！



先輩のアドバイスを受け、黙々と作業中…



印刷の仕上がりをチェック！色の濃度は広告効果を左右する重要な要素です

新井彩紀さん に聞いてみた！ 入社 2 年目 所属：CTP 部門

入社前にインターン制度を利用。ふなばし市民まつりの“めいど・いん・ふなばし”で新卒者の募集を知り、大学の先生を通じて入社に至る。

インターン制度を利用して良かった点は？

入社前に上司や同僚の方々とのコミュニケーションがとれたことです。入社してからの不安はありませんでした。

入社後はいかがでしたか？

業務の流れをすでに理解していたので、スムーズに業務に取り組むことができました。また、通勤経路や生活のリズムなど、プライベートにも合わせることができました。

今後の目標は？

私の所属する CTP 部門は、印刷に必要な版を制作する部署です。業務の流れの中で効率化を図るため、仕組みやシステムなどの理解を深めながら私のできることを増やしていきたいと思います。



代表取締役 竹口朋子社長

対談

インターン経験後に入社した 濱田さん・新井さん

インターンシップに参加してみてよかったことはどんなことですか？

濱田さん 入社するうえで、事業の内容よりも一番不安だったのが一緒に働く社員の皆さんがどんな方かということでした。そのため、インターンシップ生として会社の中に入ること、社員の方の雰囲気や関係性はとても良かったです。休憩時間・お昼時間等に雑談をしたら、優しい人が多かったのも印象的でした。実際に入社して仕事をする上で悩んだり困ったりすることも多くあると思うので、相談しやすい環境だと感じられたことで、とても安心しました。

竹口社長 期間が長かったということで、非常にフランクで和やかにインターンに取り組んでいましたね。こちらであえて慎重に、時間をかけて進めていきました。結果入社が決定した時は「やっと実った！」という感じでした。

新井さん 私も会社の雰囲気や社員の皆さんの人柄がわかってよかったです。イメージしていた社会人像と現実とのギャップが大きいつらい部分もあると思いますが、インターンを体験していたので「想像と違う」といったことは少なかったです。

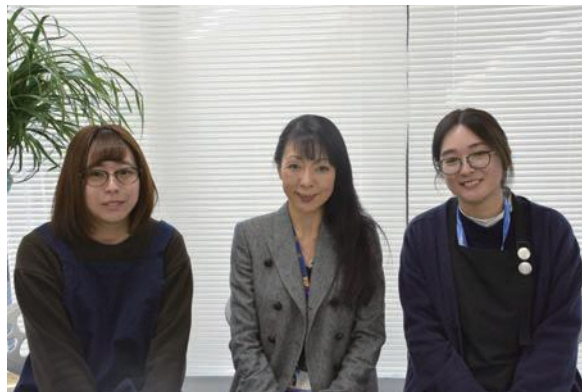
竹口社長 やはり毎日のことなので、状況を理解した上で自身が働く姿をイメージし、理想を描いて入社を決めていただいたことは、本当によかったと思います。

インターンシップに参加して、イメージした働く姿と相違はありましたか？

濱田さん インターン時と比べて、仕事量が圧倒的に違います。それに伴って責任も増えてきました。インターン時には定時に帰れましたが、今は少し遅くなることもありますね。入社する前にイメージしていた規則正しい生活、キラキラした社会人像とは多少違う部分もありますが、大変な部分も含めて仕事に楽しさを見出すことができるようになりました。

竹口社長 デザイン等何かを創り上げる仕事は、途中から他のスタッフに頼むことが出来ないのも、お客様との関係も深く、非常に責任の重い仕事です。そのかわり創り上げたときの感激は大きいと思います。デザインしたものがたくさん印刷されて、様々な場所で見ていただけることへの満足度も高いと思います。もちろん仕事なので、評価に対して厳しいところはありますね。

新井さん 私の部署はもっと体を動かす仕事だと思っていましたが、意外とパソコンで作業する時間が多いです。



（左から、新井彩紀さん、竹口朋子社長、濱田百合絵さん）

インターンシップに参加して、実際自分が働くイメージはつかめましたか？

濱田さん 実際に働いてみると想像していたこととは全く違いました。朝から他の社員と共に朝礼や業務にあたり、社員と同じように退社することで、仕事の後のプライベートな時間をどう使うかというイメージができたのでよかったです。

竹口社長 やっぱり準備が出来ているということは、実際に働くうえでも重要なことなのでよかったですね。

新井さん 私は濱田さんよりも短期間だったので、毎日この生活が続くという想像はできない部分もありましたが、実際に通勤をしてみたことや、一日の仕事の流れを確認することが出来てよかったです。

竹口社長 仕事の専門性に加え、時間のサイクルを掴めたこともメリットがあったのですね。

インターンシップ後の就職活動はどのようなことを考えましたか？

濱田さん 求人サイトも見たけれど、実際にインターンで自分が体験したこと・感じたことに比べると、書かれた内容が体験を超えることは出来なかったですね。併せてサイトでは判断できない社員の方の人の良さを感じていたのも、その後たくさん他の会社を見ることはしなかったです。

竹口社長 社長として非常にうれしい言葉であり、私もぜひ会社をわかってから入社して欲しいと思っています。今はネット社会のため、サイトを見れば条件等の情報は瞬時に知ることができます。しかし会社の実情を知らなかったり、最初にきちんとした志がないまま入社すると、人として成長していく中でフラフラしてしまうんですね。若いから仕方のない部分もありますが、理解してから入社していただくと、会社としては非常に心強いです。

インターンを通じて、どうして新報社への入社を選んだのですか？

濱田さん 本当に重要視していたのが、社員の皆さんの人柄や社風でした。入社後、自分のことを支えてくれる人たちがどんな方なのか知ることができてよかったです。インターン中も就職活動はしていたので、一緒に食事をしたり仕事をする先輩方に、就職活動のことも聞けましたし、もちろん新報社のことも聞いていました。その時にいいことはもちろん言ってくれましたが、少し批判もあったり。しかしその批判があったことが、本音を話してくれているんだという安心感につながりました。このことが会社を選ぶ、一番の決め手になりました。

竹口社長 非常に参考になりますね。中小企業にとって、会社を発展させていくうえで、若い方の力は何ものにもかえられません。これからの皆さんの力に期待しています。

昭和産業株式会社

企業概要

- 会社名
昭和産業株式会社
- 設立
1936年（昭和11年）
- 本社
東京都千代田区内神田2丁目2番1号
（鎌倉河岸ビル）
- 代表者
代表取締役社長 新妻一彦
- 資本金
12,788百万円
- 企業理念
「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」
- 主要事業
小麦粉・植物油・糖化製品・二次加工食品
などの製造販売、配合飼料の販売等
- 従業員数
2,139人（連結）
（2018年3月末時点）
- 売上高
2,332億円（連結）
（2018年3月末時点）
- 事業所
本社、大阪支店、名古屋支店、
仙台支店、札幌支店、福岡支店、
広島支店、関東信越支店、千葉出張所、
鹿島工場、神戸工場、船橋工場、
基盤技術研究所、商品開発研究所等
- 昭和産業グループ会社
昭産商事(株)、敷島スターチ(株)、
九州昭和産業(株)、奥本製粉(株)、
(株)ショウレイ、昭産運輸(株)等

大学生が体験！

インターンシップ スケジュール



1日目

- 13:00 ● 企業の動画を見る
（事業内容や会社概要など）
- 13:10 ● 班に分かれて
オリエンテーション
→「目標とする品質と値段に見合った
ホットケーキミックスが作れるか」を検証
- 13:20 ● ディスカッション、商品配合に関する討議
- 14:00 ● 事前に担当者が
作っておいた配合の
ホットケーキを実食
- 15:00 ● 翌日使う機材を使用した
デモ分析
- 16:00 ● 粉を配合する



2日目

- 9:00 ● 粉の配合に関する実験・
粉を用いたホットケーキ
焼成
発表準備
プレゼン資料作成
- 13:00 ● 実験結果発表
- 16:00 ● 社員座談会他



企業側へ質問！

～インターンシップを実施してみて～



Q

学生がインターンシップを
経て入社に至ることの会社
としてのメリットとは？

A

ホームページや会社説明だけでは伝えきれない事業所内
の様子、どのような社員が在籍しているのか、社風など
を実際にインターンシップで体験した上でご入社いただ
くことで、ミスマッチがなくなり、会社への定着率向上
につながると考えています。

Q

現在、就職活動をしている
学生の皆様に向けて、イン
ターンシップの必要性や意
義とは？

A

「大手だから」「知っている企業だから」という軸で就職
活動をされる方もいらっしゃいますが、世の中には本人
の知らない業界や企業も多数あります。
インターンシップは未知の業界や企業の魅力を知る絶好
のきっかけとなるかと思います。

Q

今後、新たにインターンシ
ップを実施しようと考えて
いる企業の方にアドバイス
をお願いします！

A

インターンシップを行うと、社員も知らない「気づき」
をたくさんいただけて、自社の魅力の再発見につながりま
す。また、参加した学生の方に社員と話をさせていただく
ことで、会社理解にもつながります。
以上のことから、社会貢献にとどまらず、求める人材に
直接自社の魅力を訴求できる非常に意味のある活動であ
ると思います。



インターンに参加した 学生の声

- 実際の企業の研究施設で実験できたのがよかった。
- 学校の機材とは違うし、設備量も多い。
- 初めて会った人とディスカッションできて、
いろいろなことを知れたのがよかった。
- 会社の印象や社員の人が掴めた。
- 会社の業務内容が知れた。
- 自分が調べたこととイメージが違った。
- 実際の機材をいじれるのがよかった。
- 機材の量や質がよく、設備が整っていると感じた。
また、衛生管理もしっかりしていると感じた。



市内小学生が昭和産業(株)船橋工場を訪問し、工場見学をしている様子をおさめた動画
「とことん船橋」をぜひご覧ください！



「とことん船橋」動画

- 視聴方法① YouTubeにて「とことん船橋」と検索！
- 視聴方法② 船橋市ホームページ（右のバーコード）より視聴





企業概要

■会社名
株式会社イトーヨーカ堂

■設立
1920 年（大正 9 年）

■本社
東京都千代田区二番町
8 番地 8

■代表者
代表取締役社長 三枝富博

■資本金
400 億円
※2018 年 2 月時点

■主要事業
小売業

■従業員数
35,413 名
※2018 年 2 月時点

■売上高
1 兆 2,136 億 1,300 万円
※2018 年 2 月時点

■店舗展開
合計 161 店舗
（海外 8 店舗を除く）
※2019 年 3 月現在



船橋市立船橋高等学校 商業科の学生が体験！

インターンシップ スケジュール



1 日目

● 座学
オリエンテーション、イトーヨーカ堂の企業概要説明、
社会人としての心がけの説明等

● 品出し
グループに分かれて、衣料品の整理整頓、食料品の品出し、
前出し等

● 昼礼

● 品出し
グループに分かれて、衣料品の整理整頓、食料品の品出し、
前出し等

2 日目

● 品出し・試飲販売
グループに分かれて品出し等、市立船橋高校商業科の生徒が企画
・考案した「市立船橋アスリートウォーター」の試飲・販売
いちふな

企業側へ質問！



～インターンシップを実施してみて～



Q インターンシップを実施することの会社としてのメリットは？

A

実際の売場を体験していただき、実務・コミュニケーションを通じ、どの様な会社かを感じていただく事が重要と考えています。また、参加される学生さんの就職活動に良い形で活かせるお手伝いが出来ればと考えています。そしてそれが弊社の志望動機につながれば幸いです。



Q 望ましいインターンシップの期間や内容は？

A

短期間でのインターンシップが望ましいと考えています。ワーキングなどのルーティン業務に加え、商品の発注（仕入）から販売、検証など一連の業務に携わり、販売の楽しさを実感していただきたいと思います。



インターンに参加した学生の声



● バイトも経験したことがなかったが、職場体験（衣料品の整理整頓、食料品の品出し、販売している靴の並び替えなど）ができて非常に楽しかった。

● お昼の会議（昼会）で、社員が集まり、お客様の対応マニュアルの読み合わせを行っており、お客様のことをきちんと考えていると感じた。

● 商品を買っているときは、手に取るだけだが、自分たちが品出し等の準備をして、大変さがわかった

● 社会人として仕事をするイメージを軽くつかめたので良かった。

学生へ質問！



日本大学 理工学部 学生の本音トーク

《お話をうかがった方》

A さん：製造関係企業内定

B さん：鉄道関係企業内定



Q インターン参加にあたり、企業のどんな内容を知りたかったですか？

A さん：業界を絞るため、そして企業の雰囲気をつかみたかったからです。自分は 7 社参加しました。

B さん：鉄道関係に就職したかったため、鉄道関係会社 1 社に参加しました。業界や仕事の内容よりも、社員同士の雰囲気や風通しのよさなどを見たくて、参加しました。



Q どのような方法でインターンシップ先を探しましたか？

A さん：他県で就職したかったため、就活サイトや大学のキャリアセンターだけでなく、県主催のインターンマッチング会に参加しました。仲介してくださる方がいましたので、必ずマッチングできるようになっていました。マッチング後は、そのままインターンに参加できたり、就活サイト登録の斡旋を勧められたりと企業によってさまざまでした。

B さん：インターン先のホームページにアクセスしました。自分の中で、地元で働きたい、鉄道関係会社で働きたいという軸があったので、スムーズに進みました。



Q 会社の規模でインターン先を検討することはありますか？

A さん：中小企業の方が、自分 1 人の価値があるような気がします。しかし、中小企業のインターン実施を知るきっかけがないので、自分の企業を知ってもらうことが大切だと考えます。ホームページなどを探しても出てこないで知ることが難しく、大学のキャリアセンターなどでも情報があまりありませんでした。

B さん：中小企業は入ったら即戦力、1 人の社員としての側面が強いイメージです。自分だけでなく、周りも地元で働きたいという気持ちが強く、給料やインターンに参加することでお金がもらえるなどはあまり気にしていませんでした。

しかし、中小企業は情報量も少なく何をしているのかわからないことが多いので、地元で貢献していたり社会貢献をしている企業だと知りたいというきっかけになると思います。



Q インターン参加先で、実施したい取組はどんなものですか？

A さん：社員の 1 人として実務にあたるインターンや、仕事見学、各部署を回る形式など様々でした。その中でもグループ形式だと、仕事の体験だけでなく、インターン生同士横のつながりができたので良かったです。インターンは、短いほうが楽だと思いますが、1 ～ 2 日ではわからない部分が多いです。そのため、企業の中身を知るには 5 日間ぐらいがよいのではないかと感じます。

B さん：自分が参加したインターンは、通常の業務体験だけでなく、1 人 1 人にアドバイザーがつき、カリキュラムを決めて学びたいことを学ぶ形式でした。従業員さんとのつながりが作れたことがよかったです。